

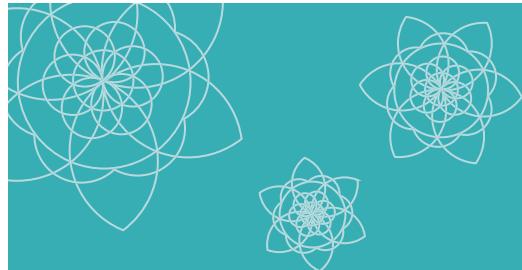
# Living the Lotus



6  
2021

VOL. 189

Buddhism in Everyday Life



立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家佛教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鑑会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus  
2021年6月号 (Vol. 189)

【発行】立正佼成会 国際伝道部  
〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F  
Tel: 03-5341-1124  
Fax: 03-5341-1224  
E-mail: living.the.lotus.rk-international  
@kosei-kai.or.jp  
編集責任者: 赤川恵一  
編集チーフ: 長田健祐  
校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之  
編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ



開祖隨感

## 行学二道

いまの社会には、知識の豊富さでは驚嘆するような人がいくらでもいます。ところが、そういう人が人生の問題で迷い、決断ができずに、ノイローゼになったりしていることが多いのです。<sup>こうずい</sup>情報洪水のいまの世の中は、才覚のある人ほどご苦労が多くなってしまうわけです。

私たちは、よい話を次から次へと聞かされて、自分ではかなり悟ったつもりになっています。しかし、知識として知っているだけでは、まだ本当に自分のものにはなっていないのですね。よいことを聞いたら、そのとおり実行してみなくては、なにごとも本当には分からぬのです。

私は、「これはいい話を聞かせてもらった」と思ったら、すぐに、そのとおり実行してみるのです。すると、もっとよく分かってきます。身についてしまうわけです。「教えどおりに信じ、実行しよう」というのが信仰なのですね。

情報社会になればなるほど、自分の信じるものをしてしっかりと心に持つことが大切で、それには、行学の二道がどうしても必要なのです。

(『開祖隨感』10, P. 86-87)

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。



## 会長法話



# 觀音さまを念ずる

立正佼成会会长 庭野日鑛

## 自分の可能性を自覚する

法華経の「觀世音菩薩普門品」は、「觀音経」とも呼ばれて、たくさん的人に親しまれています。そのわけは、私たちが苦悩するとき、一心に觀音さまを念すれば、觀音さまはすぐにその声を聞き届け、救ってくださる、という教えに勇気をもつたて、觀音さまを信じて慕う人が多いからであります。ただ、それだけを聞くと、神仏にご利益を願う信仰のようですが、觀音さまを念ずることが仏の教えと真剣に向きあうきっかけになるのだとしたら、それも信仰の入り口として尊重すべきものだと思います。

とはいっても、觀音経は単に念ずれば救われる、助かると教えるものではないと受けとめています。なぜなら、「觀世音菩薩普門品」が法華経のなかの教えだからです。觀音経には、法華経の精神がこめられているからです。

その一つが、自らの可能性を自覚することの大切さです。

「觀音妙智力」という言葉があります。私たちも毎日、読経供養の際に「觀音妙智の力 能く世間の苦を救う」と読誦するこの言葉の意味を、開祖さまは「苦難に会ったときにはねかえす内面的な力、かえってその苦難から栄養をとつて成長する不可思議な心の力」と説明しています。

苦しみの底から立ち上がり、その苦を糧に成長できる底力が私たちにはあって、それが「觀音妙智力」だというのです。詩人の山尾三省氏は、私たちに内在する根源の生命力を念ずるのが、觀音の力を念ずることだといいます。

つまり、観音さまとは自分自身のことにはかならず、そのような自己の可能性を信じ、内なる観音の力を信じて一心に念じるとき、私たちの心には安心感とともに気力が湧いてくる——それが、苦から救われるということなのです。

## すべての人を救いたい、という願い

私たちは、たとえば苦しみのなかで絶望しかけたとき、ふと「永遠につづく苦しみはない」と気づいて肚が据わったり、孤独感にさいなまれて死を念う衝動にかられたときに、愛情をもって見守ってくれた人を思いだして生きる力を得たりすることがあります。それは、いわば諸行無常や諸法無我などの真理に目ざめ、新たな人生が開かれた瞬間です。たとえ、そのときそれが仏の教えとわからなくても、自分に具わる智慧の力(妙智力)によって、自ら立ち上がることができたということに間違いはないでしょう。

ほんとうに苦しいとき、すがるような思いで「観音さま、助けてください」と念ずる人があるかもしれません。しかし、それでもいいのです。現世利益を願う祈りであっても、観音さまを一心に念ずる素直な心と、内なる観音とが一つになったとき、自分本来の力がはたらくのですから。

その意味では、「方便即眞実」という言葉がありますが、観音さまの力という方便をとおして、「仏性が自覚できればだれもが必ず救われる、自由自在な世界が開ける」という真実を教えているのが観音經といえるのです。

また観音經には、観世音菩薩がさまざまな手立てをもって人びとを苦難から救うことが繰り返し説かれていますが、それもまた、「すべての人を救いたい」という観音さまと同じ心が私たちにもあることに気づかせる、一つの方便ではないでしょうか。そして、観音さまを念ずることで、あたかも千手觀音のように、「千の手を差し伸べても人びとに幸せや安らぎを与える」と願う心があることに気づいたならば、こんどは自分が一人の菩薩となって実践にふみだす。その大切さを、観音經は説き示しているのです。

地蔵菩薩に常不輕菩薩……と、観音さまに限らず、自分がめざす菩薩としての歩み方は人それぞれでしょうが、次号ではその菩薩の実践についてふれたいと思います。

(『校成』2021年6月号)

# Spiritual Journey

## 人さまは自分の心を映す鏡

韓国教会  
朴勁進

この体験説法は、2020年12月13日に韓国教会で行なわれた水子合同慰靈祭のなかで発表されたものです。

皆さま、こんにちは。

私はソウル市内の城北支部に所属する朴勁進(パク・ギョンジン)と申します。1978年2月、一男四女の次女として生まれました。今は結婚をして、夫の金成眞(キム・ソンジン)と娘の知園(ジュ)、息子の潤健(ユンゴン)と四人で暮らしています。夫は現在ソウルで眼鏡店を営んでいます。

昔、私の母は知人の借金の保証人になり、その知人が借金を返済できなくなつたため、わが家の家財道具が差し押さえられたことがありました。そうした大変な時、佼成会の支部長をされていた隣家の朴鐘林(パク・ジョンリム)さんのお導きにより、母は1985年5月25日、私が7歳の時に入会しました。母について教会に行くと、新しい友達と楽しく遊ぶことができ、おいしいお菓子も食べられるので、大きな行事の日は必ず教会へ行っていました。

中学に進学をすると、学業に専念するため教会に行く回数は減りました。私は体育大学を目指していましたので、学校の勉強のほか入試の際の実技試験に備えてスポーツ塾に通っていました。勉強と運動の両立は大変でしたが、高校を卒業後、希望する大学のスポーツ教育学科に進学することができました。

しかし、スポーツ教育学では、さまざまなスポーツについて学ぶ必要があり、新たに講座の申し込みをするたびに受講料が必要でした。そのことが引け目に感じられて、私は常に家族の顔色を窺っていました。必死に努力している姿を見せようと徹夜で勉強をしたり、休日

にはアルバイトをして必要な用具の購入や実習費用に充てたりしながら、自分なりに一生懸命でした。

そんなある日、友人の家に遊びに行く機会がありました。友人は高層マンションに住んでいて、広い部屋にはたくさんの家電が揃っていました。その友人が小遣いとして1か月に100万ウォン(約10万円)をもらって生活しているのを知り、自分とあまりにもかけ離れた環境にショックを受けました。それ以来、両親に対して、また自分が置かれている環境に対して不平不満の心が起り、自分の生活が嫌になりました。

大学では、試験期間中に同期の仲間が私のノートを勝手に持ち出したり、他の科目的ノートも当たり前のように要求してくるなど、私はぞんざいに扱われていました。しかし、私は同期から嫌われることを恐れて自分の考えや意見を素直に言えず、自分自身を情けなく思っていました。それでも、やがて良い成績を取れるようになり、奨学金をもらえることになりました。ところがある助教



韓国教会で説法する朴さん

授から「奨学金をもらえたのは自分たちのお陰なのだから、謝礼としていくらか分けてほしい」と言われ、その言葉にショックを受けた私はすぐに休学届けを出しました。世の中のすべての人が嫌いになり、誰とも顔を合わせたくなかった私は家出をしました。しかし、私を心配する母からのポケベルのメッセージを見て、一週間後に家に戻りました。しかし、その頃から私は心を閉ざし、寂しい思いを誰にも言えず、家に籠って暴飲暴食を繰り返すようになりました。やがて、体重は80キロまで増え、全身に痛みを感じるようになりました。

その頃、子どもの頃教会でよく遊んでくれた文惠暎（ムン・ヘヨン）さんと連絡がつき、何回か外で会うことになりました。太ってしまった自分の外見が気になり、夜に会うことにしました。ムンさんは私の話をじっくりと聞いてください、「そうだったの。ひどい同期だったね。奨学金をもらったの！すごいね。アルバイトを二つもやったの！」と、私の立場に立って努力を認め、慰めてくれました。ムンさんは日本でもひきこもりが多いことを教えてくれて、「あなたは少しも変じゃないよ。普通だよ。もう一度外に出てみようよ」と言って、私に勇気をくださいました。

ムンさんの励まで私は復学し、何とか卒業は果たせたものの、その後受けた教員採用試験に落ちてしまいました。再び挑戦をしたかったのですが、私は急いで就職してほしいと願う家族の思いを受け、私は急いで仕事を見つけました。ところが、その会社はいわゆるネズミ講で、幸いにも無事に辞めることはできましたが、その後就職したコールセンターは私の体質に合わず、すっかり自信をなくしていました。

その頃、ムンさんから、「お金のためではなく、あなたがワクワクする仕事を見つけてみて。そうすれば、長く、

楽しく仕事ができるよ。自分の心を信じなさい」というアドバイスをいただき、私は准看護師の養成学校に通うことを決めました。アルバイトをしながら勉強を続けて資格を取り、病院で働き始めました。お陰さまで、少しづつお金を貯めることもできました。

教会のサンガの皆さんは私の話を聞いて、「素晴らしいね。私ならそこまでできないよ。すごいね」と言って、私の努力を讃めてください、仕事で心身ともに疲れていた私を慰めてくれました。そして、いつも私の味方になって話を聞いてください、教えに照らして自分を見つめることで、自ら自分の間違いに気づけるように導いてくれました。自分の話に耳を傾けてくださる方がいることで、人生のどん底から平凡な日常に戻ることができることを身をもって経験しました。

今回説法のお役をいただき、あまりにも近くにいて気づけなかった家族への感謝の大切さに気づかせていただきました。大学にまで行かせてもらった私のことを妬んだりせずに応援してくれた弟や姉妹たち。私が結婚して育児で忙しかったときには、すでに子育てが終わっていた弟や姉妹たちが私を助けてくれました。そして、保育所でも幼稚園でも、自分からその場にしっかりと馴染んでくれた娘のジユ。息子のウンゴンは時々わがままも言いますが、私がおんぶしていると、「大丈夫？どこか痛いの？俺重いから降ろしていいよ」と、大人びた口調で私を心配してくれます。お腹にいる時から校成会の教えに触れていたお陰さまで。そして、大切な私の夫、無愛想あまり動きたがらないキム・ソンジンさん。背は高いけれど、瘦せていて私のタイプではなかったのですが、素朴な笑顔と純粋で裏表のない優しい性格が好きになりました。活発で頑固な私と結婚してくれて、

# Spiritual Journey

休む間もなく、私が毎日どこかへ出かけたいとお願いすると、嫌な顔一つせず一緒に出かけてくれて、家に帰ると疲れてすぐに眠ってしまう夫。最近はコロナ禍で休業中のお店も多い中、一生懸命働いてくれている夫にとても感謝しています。

そして、この世で一番感謝しているのは、やはり、いつも私を支えてくれている両親です。家族のためにひたすら仕事をしてきた実直な父。5人の子どもたちを育てるため、父を支えながら辛いことにもくじけず耐えてきた母。母のこれまでの人生に思いを馳せ、私を産んでくださり、校成会の教えのご縁に触れさせてくれた母のことを思うと、感謝の気持ちで胸がいっぱいになります。育児や家計の悩みについて相談をすると、いつも私の立場になって耳を傾け、最後には校成会の教えに照らして正しい道に導いてくれる母を心から尊敬しています。

私が結婚した後、私より先に息子を産んだ義姉と、娘を産んだ私を差別する義母に対する憎しみが原因で、夫ともよくぶつかりました。その後私も長男のユンゴンを出産しましたが、長女のジユの時とは違う義母の反応に驚き、怒りを感じました。そんな時、4人の娘を産み、遅くに息子を授かった母が、末っ子の息子に対する特別な思いを話してくれたことを思い出しました。娘よりも息子の誕生が望まれた義母の世代と私の世代では、子どもの性別に対する価値観が違うにも関わらず、私はその違いを認めず、ただ自分の価値観だけで義母の言葉や行動の一つ一つに敏感に反応し、怒りを感じていたのです。

現在、私は訪問介護の仕事をしております。訪問先の高齢者の、お子さんたちには言えないつらく苦しい胸のうちや、これまでの人生についてお話を聞かせていました

だいていると、私自身の両家の両親に対する感謝が足りなかったことに気づかされ、申し訳ない気持ちになります。今は一度でも多く両家の両親に電話をし、会いに行くよう努力をしています。年齢と共にしだいに小さく弱くなっていく実の両親の姿に心を痛めしていましたが、今は義理の両親に対しても、実の両親と同じように心配できる私にならせていただきました。以前は、義母との会話は子どもたちの健康や勉強のことが主でしたが、最近は義母の健康について話すことが多くなりました。私自身が変わることで、今では義理の両親に電話をする時は子どもたちも電話に出て、おじいちゃんやおばあちゃんとの楽しい会話が長く続くようになりました。子どもたちの姿が鏡となって、私の心がそのまま映し出されていることに気づき、「すべて自分、相手は自分の鏡」という言葉の重みを肌身で感じました。今は義理の母に「かわいい子どもたちと一緒に生活ができる幸せをいただけたのは、純粋で優しい夫を産んでくださったお陰さまです」と言える私にならせていただきました。教えによって見方や考え方方が変わると、必ず周りの人との関係も和やかになっていくことを学びました。

2004年、私の両親は当時悩みが多かった私を心配し、本部で行なわれた青少年団参に参加させてくれました。広い大聖堂の中で信者さんがそれぞれの場所で秩序を守りながら一生懸命にご供養をされている姿は、私にとってとても印象的でした。また、食事の時に自分に適した量をお皿に取って食べ残しをしない姿や、穏やかで落ち着いた様子にも強い印象を受けました。「相手は変えられない。すべては絶えず変化する。一人では生きていけない。法をよりどころとし、人のせいにしない」という、開祖さまの教えを学び実践することで、私も

# Spiritual Journey

穏やかで落ち着いた素敵な女性になりたいと願っています。

私の姿を見て成長する子どもたちのためにも、両家の両親への親孝行の実践を通して賢い母親、智慧のある妻、優しい娘、思いやりのある嫁になって幸せな家庭を築き、韓国の社会の幸福に貢献できる私になれるよう精進することをお誓いいたします。

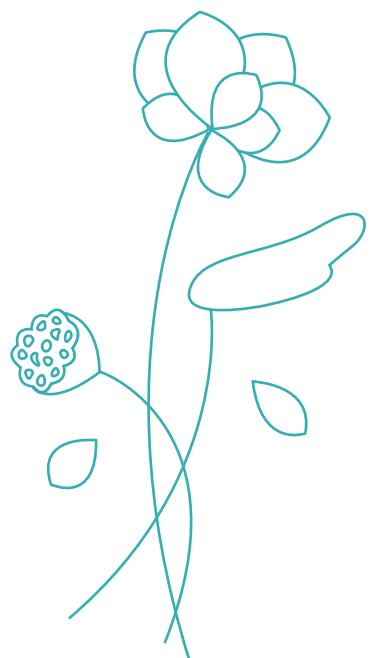
み仏さま、開祖さま、ありがとうございました。

会長先生、ありがとうございました。

教會長さん、サンガの皆さん、ありがとうございました。



法座に参加する朴さん



# 法華三部經 各品のあらましと要点

庭野 日敬



## 妙法蓮華經 普賢菩薩勸發品第二十八

ほう い とくじょうおうぶつ ほ けきょう ふげんほさつ  
東方の宝威徳上王仏の国から法華經を聞きにやってきた普賢菩薩が、その  
概要を聞いただけで感激し、「後の世においてこの教えを受持するものを必ず  
しゆ ご 守護いたしましよう」と申し上げますと、お釈迦さまがそれをおほめになって、「普  
賢菩薩と同じような行をなすものを、わたしも守護しましよう」とおおせになりました。  
つまりこの品は、末世の法華經行者を元気づけ励まされる章であります。

### みようほう 妙法も実践してこそ

なぜこの最後の章になって普賢菩薩が登場するかといいますと、それには深い意味があるのです。普賢菩薩は、〈理・定・行〉を司る菩薩とされていますが、  
びやくぞうおう ぎり じょう ぎょう  
白象王に乗って出現すること(象は川を渡るときも足が水底につく)が象徴している  
ように、ほかの二徳よりも、徹底した〈行〉の典型であると見るべきなのです。

法華經の初めのほうでは、菩薩の主役は〈智〉の文殊菩薩でした。中ほど(特に《如來壽量品》)においては〈慈〉の弥勒菩薩でした。そして、最後の結びにおいて〈行〉の普賢菩薩が登場するのは、いうまでもなく、法華經の教えを聞いて  
しょ ほう じっそう みろくほさつ  
諸法実相の智慧を知り(迹門)、久遠本仏の大慈悲に生かされている真実(本  
もん もん  
門)に目覚めた者も、その教えを実践しなければ意味をなさないからです。この  
ことさえ分かれば、もうこの品の要旨はつかみえたものといっていいでしょう。





しほうじょうじゅ  
**四法成就**

しかし、この品に、非常に大事なお釈迦さまのお言葉があります。それは、普賢菩薩の質問に対して、次のようにお答えになっていることです。

「もし信仰深い男女が、次の四つの事柄を成就すれば、如來の滅後においても、この法華経の教えをつかんだことになり、法華経の眞の功德を得ることができましょう。それは、

第一に、自分は諸仏に護念されているのだという絶対の信念をもつこと。

第二に、日常生活で善行を積み、徳を育てるように努力すること。

第三に、正しい教えを奉ずる人びとの仲間に入ること。

第四に、世の人みんなと一緒に救われるのが眞の救いであることを知り、みずから多くの人びとを救う心をもつこと」

これは、いままでに詳しく説いてこられた教えを、一般の人も理解し、実践できるよう簡潔にまとめられたものであって、法華経の教えのあまりの深遠さに少したじろぎ気味だった人びとも、これによってきっと「自分にも理解し実践できるのだ」という勇気を与えられることでしょう。まことに《妙法蓮華経》の結びにふさわしい教えであります。

(庭野日敬著『法華三部経 各品のあらましと要点』

佼成出版社, 2016年 [初版 1991年], P.221-224)



# Director's Column

## 奇跡的ないのち

国際伝道部長

赤川惠一

観世音菩薩普門品は、私にとって特別な思い入れがあるお経です。

昭和35年、3人目の出産で体力的に大きな不安を抱えていた母は、「観音菩薩さま」の力にすがる思いで私の出産に臨みました。東北の片田舎で、お産婆さんの介助による自宅出産でした。「陣痛がくる瞬間まで『観音経』を大声であげていたんだよ」と母は語ります。

しかし、産まれてきた私は新生児仮死状態で産声も上げなければ、肌色も悪く、第一、動く様子がありません。急遽、近所のかかりつけ医を呼び、治療に当たってもらったものの見立てはよくありません。まさに「医者もさじを投げた」状態であったと言います。

しかしながら、医師とお産婆さんの必死の手当てで私は呼吸を回復し、後遺症もなく一命をとりとめたと聞いております。

私は観音経を読誦するたびに、自分のいのちが多く人の祈りと手当てによって助けられたご恩に思いを馳せます。奇跡的に取り戻していただきたいのちですから、菩薩行を通して世の中に法華経を弘めることこそ報恩感謝と受けとめています。合掌



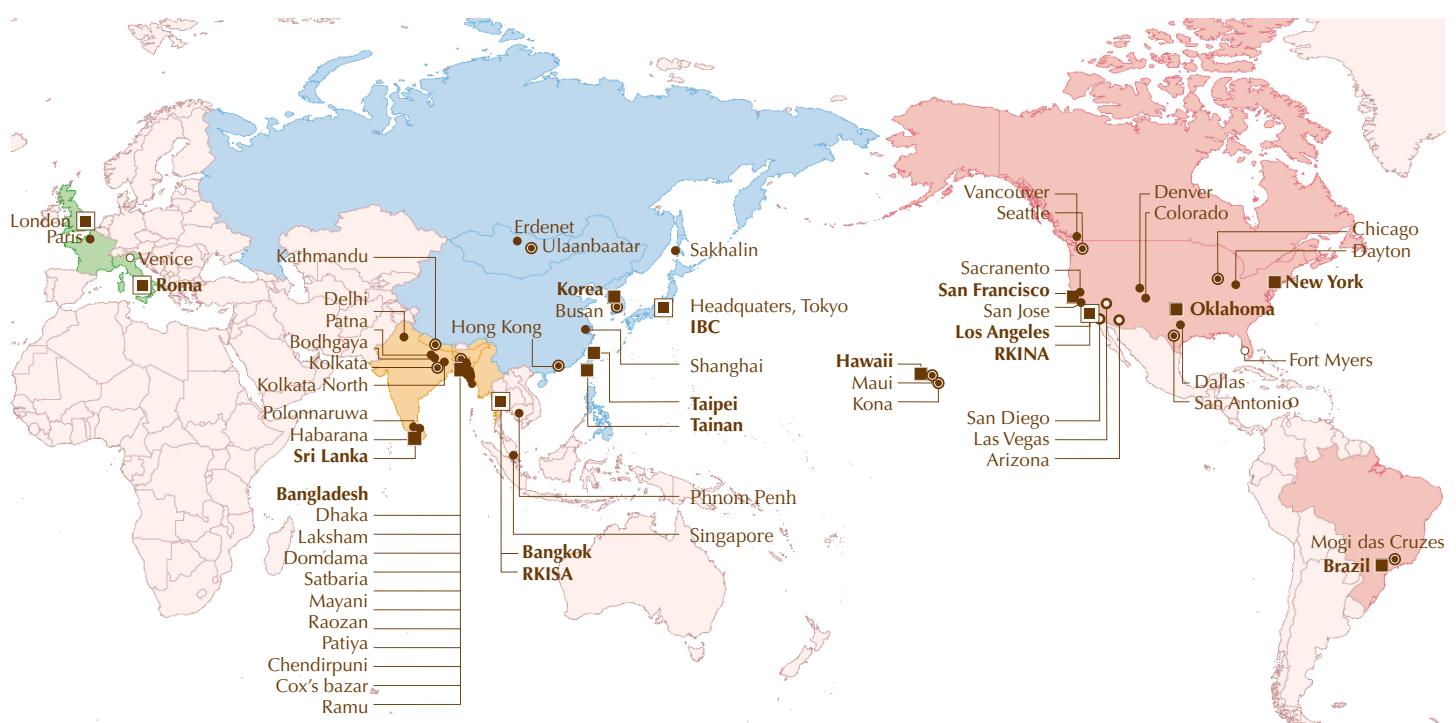
Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)



# Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



## Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA  
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633  
 Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

## Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA  
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

## Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA  
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA  
 POBox 33636, CA 90033, USA  
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567  
 Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA  
 POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA  
 TEL: 1-650-359-6951 Email: [info@rksf.org](mailto:info@rksf.org)

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

**Rissho Kosei-kai of Sacramento**  
**Rissho Kosei-kai of San Jose**

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA  
 TEL: 1-212-867-5677 Email: [rkn39@gmail.com](mailto:rkn39@gmail.com) URL: <http://rk-ny.org>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA  
 TEL: 1-773-842-5654  
 Email: [murakami4838@aol.com](mailto:murakami4838@aol.com) URL: <http://rkchi.org>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA  
 POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA  
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303  
 Email: [rkokdc@gmail.com](mailto:rkokdc@gmail.com) URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA  
 TEL: 1-303-446-0792

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA  
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

## The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA  
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567  
 Email: [dharmasa@rksabuddhistcenter.org](mailto:dharmasa@rksabuddhistcenter.org)  
 URL: <http://rksabuddhistcenter.org>

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA  
 (Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA  
 TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745  
 Email: [dharmasanantonio@gmail.com](mailto:dharmasanantonio@gmail.com)  
 URL: <http://www.rkina.org/sanantonio.html>

## Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA  
 TEL: 1-253-945-0024 Email: [rkseattlewashington@gmail.com](mailto:rkseattlewashington@gmail.com)  
 URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

## Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

## Risho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefano 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil  
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377  
 Email: [risho@rkk.org.br](mailto:risho@rkk.org.br) URL: <http://www.rkk.org.br>

**Risho Kosei-kai de Mogi das Cruzes**

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

**在家佛教韓國立正佼成會**

〒 04420 大韓民国 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3  
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea  
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

**在家佛教韓國立正佼成會釜山支部**

〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F  
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

**社團法人在家佛教立正佼成會**

台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓  
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongjheng District, Taipei City 100, Taiwan  
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

**臺南市在家佛教立正佼成會**

台灣台南市東區崇明 23 街 45 號  
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan  
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488  
Email: koseikaitainan@gmail.com

**Risho Kosei-kai South Asia Division**

Thai Risho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Risho Kosei-kai of Kathmandu**

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

**Risho Kosei-kai of Kolkata**

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

**Risho Kosei-kai of Kolkata North**

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,  
West Bengal, India

**Risho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center**

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,  
Bihar, India

**Risho Kosei-kai of Patna Dharma Center**

Please contact Risho Kosei-kai of Kolkata

**Risho Kosei-kai of Central Delhi**

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,  
New Delhi 110060, India

**Risho Kosei-kai of Singapore**

Please contact Risho Kosei-kai International

**Risho Kosei-kai of Phnom Penh**

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,  
Phnom Penh, Cambodia

**RKISA Risho Kosei-kai International of South Asia**

Thai Risho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Risho Kosei-kai of Bangkok**

Thai Risho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairisho@gmail.com

**Risho Kosei Dhamma Foundation**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka  
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

**Risho Kosei-kai of Polonnaruwa**

Please contact Risho Kosei Dhamma Foundation

**Risho Kosei-kai Bangladesh**

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh  
TEL: 880-2-41360470

**Risho Kosei-kai Mayani**

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Risho Kosei-kai Damdama**

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Risho Kosei-kai Satbaria**

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

**Risho Kosei-kai Chendhirkuni**

Village: Chendhirkuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,  
Bangladesh

**Risho Kosei-kai Raozan**

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

**Risho Kosei-kai Laksham**

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

**Risho Kosei-kai Dhaka**

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

**Risho Kosei-kai Cox's Bazar**

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Risho Kosei-kai Bangladesh

**Risho Kosei-kai Patiya****Risho Kosei-kai Ramu****Risho Kosei-kai Aburkhiln****Buddiyskiy khram "Lotos"**

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia

TEL: 7-4242-77-05-14

**Risho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

**Risho Kosei-kai Friends in Shanghai****Risho Kosei-kai of Ulaanbaatar**

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia

(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia

TEL: 976-7-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

**Risho Kosei-kai of Erdenet**

Please contact Risho Kosei-kai International

**Risho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia

TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Risho Kosei-kai di Rome

**Risho Kosei-kai of Paris****Risho Kosei-kai of Venezia****Risho Kosei-kai of the UK**

29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK

TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: https://www.rkuk.org

Facebook: https://www.facebook.com/rkuk.official

Twitter: https://twitter.com/rkuk\_official

Instagram: https://www.instagram.com/rkuk\_official

**Risho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)**

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan

TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: http://www.ibc-rk.org